2013.10.9(11月～)

メラミン不燃化粧板 リテクト　**施工説明書**

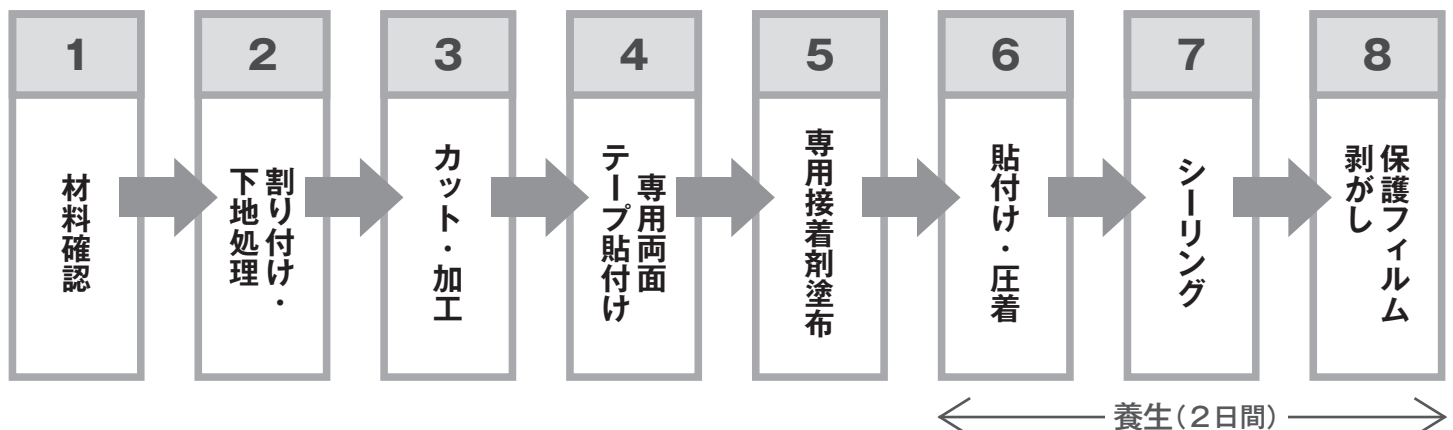
一般下地用

◎ 施工前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
◎ 同梱の取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください。
◎ 施工される前に品番及び輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますので、ご注意ください。
◎ リテクトは建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。
◎ リテクトは環境の変化により伸び縮みがあります。必ず注意事項に従って施工してください。
◎ リテクトは浴室用途や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。
◎ リテクトは保護フィルム、品番ラベルの貼付け面が表面です。
◎ 湿気を帯びた下地・施工後に湿気を帯びる可能性のある下地や、高温度・高湿度になる場所には施工しないでください。
（剥がれや浮きの原因となります）
◎ 搬入時、現場内での運搬はリテクトがたわむため、2人以上で作業を行ってください。
◎ 5℃以下の環境では施工しないでください。（接着剤の硬化不良の恐れがあります）
◎ 接着剤、シーリング材、プライマーについては、製品安全データシート（MSDS）をご確認ください。

! 安全についてのご注意

下記の注意事項は、ケガや事故を事前に防止するためのものですので、必ずお守りください。

注意事項	想定される危険性
● **専用両面テープ・専用接着剤以外は使用しないでください。** ● 下地施工は材料メーカーが指定する方法を厳守してください。	剥がれによる落下の恐れ
● 家庭用加熱調理機器とリテクト表面とは十分な距離を離してください。詳細については本紙4ページをご参照ください。 ● 業務用加熱調理機器の場合は、家庭用に比べ熱量が極端に高く、近接する部位にはご使用できません。	表面変色の恐れ
● 運搬・作業時には滑り止め手袋を着用するとともに、加工時に粉じんが発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。尚、防じん丸のこを使用し、換気を良くして作業を行ってください。もし、粉じんが皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合は、速やかに水で十分洗い流してください。また、異常を感じたら医師の手当てを受けてください。 ● カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパーで面取りをしてください。	けがもしくは健康障害を生ずる恐れ

施工の手順

商品仕様

品名	サイズ(㎜)	梱包単位
RETECT メラミン不燃化粧板 リテクト	3×6(t3×935×1850) 3×8(t3×935×2450)	1枚もしくは2枚/梱包

	品名	サイズ･容量	梱包単位
専用接着剤	接着剤　ケース対応	333ml	10本
専用両面テープ	両面テープ　ケース対応	20mm幅×10M/巻	48巻
シーリング材	シーリング材(ホワイトor アイボリー or ニューグレー)	330ml	10本
施工セットA　2枚用 (3×8　2枚施工分)	接着剤	333ml	2本
	両面テープ	20mm幅×10M/巻	2巻
施工セットB　3枚用 (3×8　3枚施工分)	接着剤	333ml	3本
	両面テープ	20mm幅×10M/巻	3巻
施工セットC　2枚用 シーリング材入り (3×8　2枚施工分)	接着剤	333ml	2本
	両面テープ	20mm幅×10M/巻	2巻
	シーリング材(ホワイトor アイボリー or ニューグレー)	330ml	1本
施工セットD　3枚用 シーリング材入り (3×8　3枚施工分)	接着剤	333ml	3本
	両面テープ	20mm幅×10M/巻	3巻
	シーリング材(ホワイトor アイボリー or ニューグレー)	330ml	1本
アルミジョイナー	平目地用	2.73m	2本もしくは20本
	見切り用	2.73m	2本もしくは20本
	出隅用	2.73m	2本もしくは20本
	入隅用	2.73m	2本もしくは20本
ABSジョイナー	平目地用	2.73m	2本もしくは20本
	見切り用	2.73m	2本もしくは20本
	出隅用	2.73m	2本もしくは20本

施工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起こらないように刃物は新しいものをお選びください。

①切断加工　防じん丸のこ(チップソー･ダイヤモンドソー)

施工時における切断用刃物について

○刃物には**「外径」「刃厚」「刃数」**の規格があります。

○**「外径」「刃厚」**はお手元のチップソーに合ったものをご使用ください。

○**「刃数」**はできるだけ多いものをご使用ください。

例)チップソー「刃数」:φ100の場合P100、φ125の場合P80

②穴あけ加工　ドリル、ホールソー、ルーター、トリマー

③仕上げ　サンドペーパー、ヤスリ、デコラカンナ

施工前の確認

1　下地の確認

まずはリテクトの施工が可能かどうか確認ください。

1.下地の種類のチェック

適しない下地について

○ 湿気を帯びた下地
○ ＡＬＣ躯体への直貼りはできません。
○ ＲＣ壁面への直貼りはできません。
○ 塗装面・クロス面・化粧面への直貼りはできません。
※その他、下記**「施工可能な下地」**に該当しない下地の場合は、必ず当社までお問い合わせください。

施工可能な下地について

○ プラスターボード（推奨12.5㎜以上）
○ モルタル面（含水率4.5％以下・接着強度1.0Ｎ/㎟、平滑な金ゴテ仕上げ、不陸2㎜以下）
○ ケイカル板（推奨6㎜以上・比重0.8以上）
○ ラワン合板（推奨9㎜以上）

推奨 セメダイン㈱製
プライマー「MP-2000」

! ご注意
※下地材の選定と構造の作成は建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合する様に行ってください。

躯体への下地材固定方法について

①軽量鉄骨壁下地

スタッドは65形以上を使用してください。
下地材（プラスターボード等）を専用ビスで200～300㎜ピッチで固定してください。
※枠廻り・出隅・入隅部分の下地材端部はビスで確実に固定してください。

②ＲＣ壁

○ モルタル仕上げの場合
モルタルはＲＣ壁に対して接着が良いものを選定し、不陸がないように金ゴテ仕上げとしてください。
※モルタルの含水率が4.5％以下になってから施工してください。（接着強度1.0N／㎟以上）

○ 木胴縁の場合
24㎜×45㎜程度の縦・横胴縁を300㎜ピッチで躯体にアンカー・カール・釘などで固定し、下地材（プラスターボード等）を専用ビス（200～300㎜ピッチ）と接着剤を併用して固定してください。

○ ＧＬ工法の場合
プラスターボードメーカーの仕様を厳守してください。
※ＧＬボンドは水性ですので、施工後は養生を充分取ってください。目安として約20日間は養生が必要です。（乾燥したことを確認してから施工してください。）

2.下地の施工精度のチェック

● 壁面の水平・垂直の確認を行ってください。
● 壁面に不陸がないようにしてください。

2　貼付け壁の確認

キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、リテクト表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

○ コンロの側面からリテクトの表面まで15㎝以上離してください。15㎝以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが発生する場合がありますので防熱板を使用してください。

○ グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65㎝未満のカウンターで使用する場合は防熱板を使用してください。

○ 奥行き65㎝以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合は防熱板を使用してください。

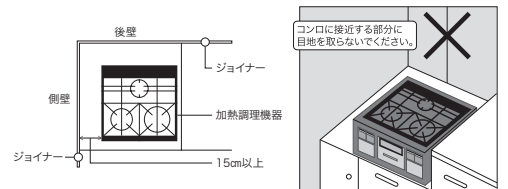
据え置きタイプコンロの場合

○据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15㎝以上離せない場合（側面、背面）は防熱板を使用してください。防熱板を設置する際、防熱板メーカーの施工説明書に従って壁面との距離を必ず取ってください。

ジョイナー使用上のご注意

コンロ廻りのご注意

コンロに接近する部位に目地を取らないでください。

※以上の条件を満たしても直接炎がリテクトに当たらないようにご注意ください。
※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。規制に従った構造を作成してください。
※4600kcalを超える業務用コンロに近接する部位には使用しないでください。
※加熱された鍋類が直接リテクトに触れる事が無いようにしてください。
※リテクトの表面化粧層の耐熱温度は180℃以下となります。
それ以上の熱が加わると化粧面に変色やコゲ、化粧層の剥離が発生することがあります。
（変色やコゲ、化粧層の剥離が発生しても不燃性能には影響ありません）

3　納まりの確認

ご注意

※ジョイナー納まりの場合は、リテクトに差し込んでから施工してください。また、ジョイナーは両面テープ等を用いて、しっかりと固定してください。
※水廻りにて施工する場合、必ずジョイナーの中にシーリング材を注入して施工してください。

ご注意

※天井部への施工には、落下の危険性がありますので、アルミハット型ジョイナーを必ず使用してください。
★株式会社創建製「アルミハット365」を推奨します。

※リテクトを天井に施工する場合は、**3尺×4尺サイズ（935㎜×1225㎜）以下**にカットして、使用してください。

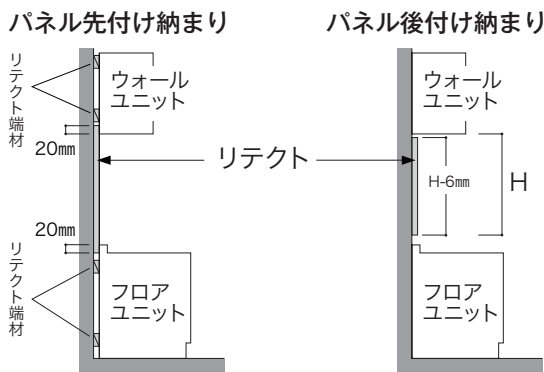
※リテクトを**突き付け施工しないでください。**
高湿度下でリテクトが伸び、突き上げを生じたり、低湿度下で収縮して、すき間を生じたりする場合があります。

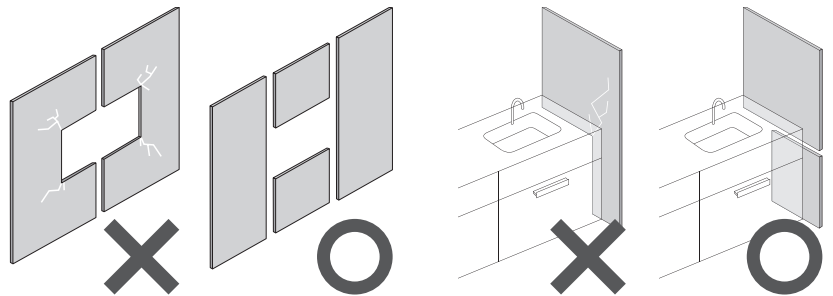
施工方法

1 割り付け・プライマー下地処理

下記の注意事項を遵守して割り付け・下地処理を行ってください。

- ○ 下地材の目地とリテクトの目地が重ならないように、割り付けてください。
- ○ リテクトで突き付け施工はできません。
- ○ シーリング材・目透かしで施工される場合、3㎜以上の目地を取ってください。
  ジョイナーで施工される場合も、必ずクリアランスを取ってください。
- ○ 開口部の位置及び外観を考慮して、端材が少なくなるように割り付けてください。

キッチンで使用する場合

- ○ パネル先付け納まりの場合、吊り棚・天板へ20㎜呑み込ませて割り付けてください。
  また、パネル後付け納まりの場合、吊り棚・天板とのチリ3㎜を取って割り付けてください。
- ○ 左右の割り付けはチリ3㎜を取ってください。

切り欠き部がある場合

- ○ 上図のような**切り欠き部**が大きい場合、クラック発生の恐れがあります。
  （上図のような場合、切り欠きではなく、複数枚を使用する割り付けとしてください。）

下地材がモルタル面・ケイカル板・合板の場合

リテクトを貼付ける部分の下地材全面に予めプライマーを塗布してください。

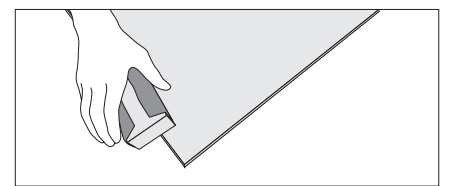
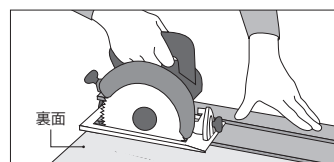
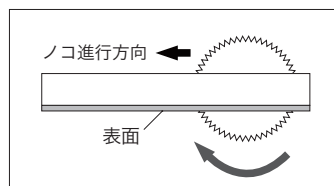
❗ご注意

※推奨プライマー以外のプライマーを使用する場合取扱い説明書をよくお読みの上ご使用ください。

2 カット・加工

下記の注意事項を遵守してカット・穴あけ・切り欠きを行ってください。

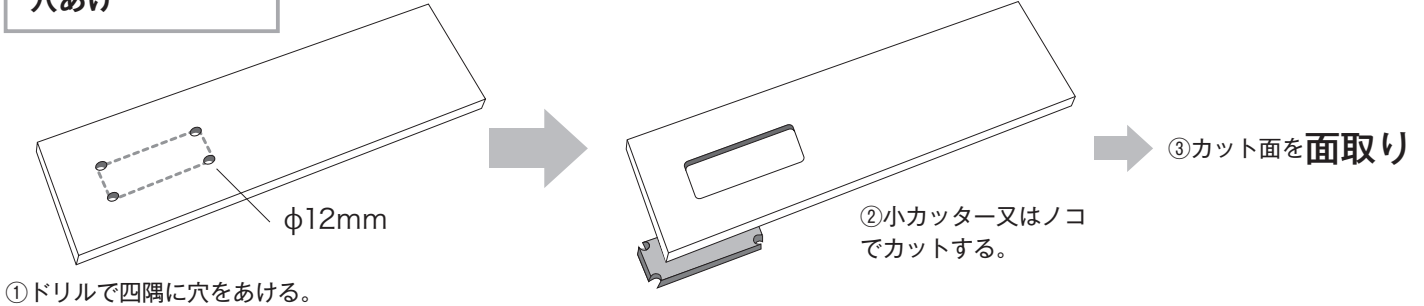
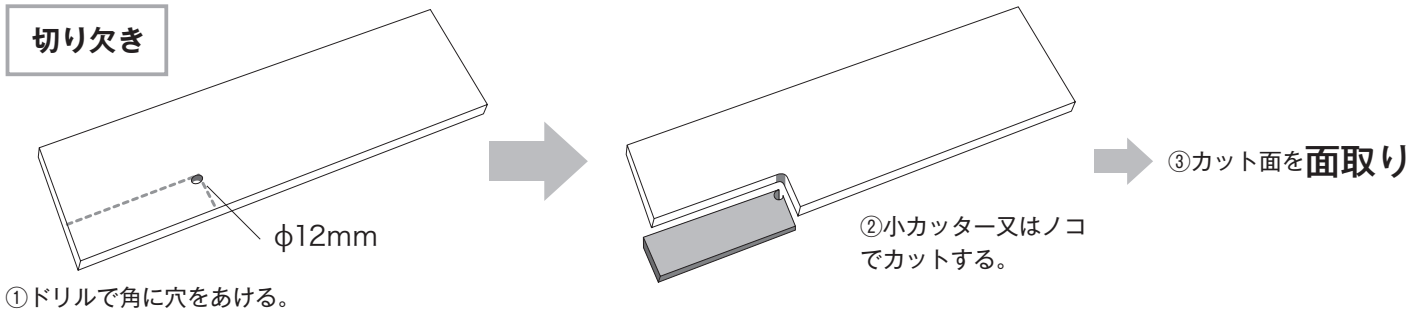
❗カットする時の注意点

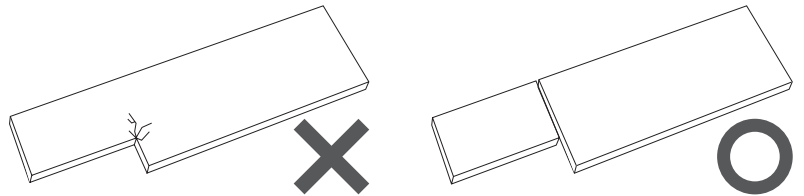
- ○ 切断は当木を用いて、必ず刃物を**表面**から入れて裏面から出るようにしてください。
  （表面には保護フィルムが貼ってあります）
- ○ 保護フィルムが付いていますが、取り扱いには充分ご注意ください。

面取り方法

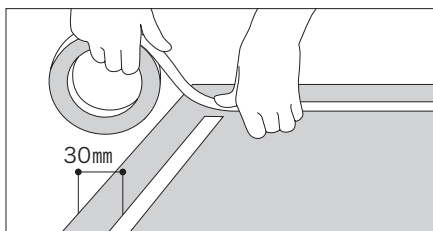
カット面はサンドペーパーを当木にそえて**面取り**してください。

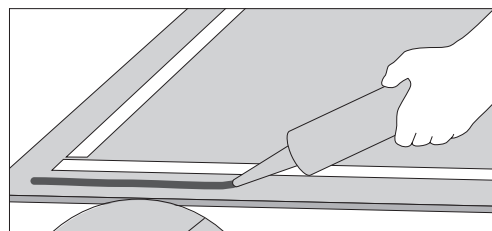
穴あけ･切り欠きの注意点

○穴あけ･切り欠きは必ず**12φ以上**の刃物を用いて、**表面**からコーナー部に穴をあけてから行ってください。

○カット後のバリ･カケは、**クラックの原因**となる場合があります。**カット面をサンドペーパーで平滑にしてください。**

ご注意

○右図のように**ピン角でカット**した場合、クラック発生の恐れがあります。ピン角でカットした場合、切り欠きではなく複数枚を使用する割り付けとしてください。

3 両面テープ貼付け･接着剤塗布

下記の注意事項を遵守して、両面テープ貼付け･接着剤塗布を行ってください。

テープ貼付けの注意点

○リテクトの端部に接着剤を塗布するための**スペース30㎜**をあけて、両面テープを貼付けてください。

接着剤塗布の注意点

○接着剤は**高さ4㎜**を目安に塗布してください。

○リテクト**外周**には必ず接着剤を塗布してください。

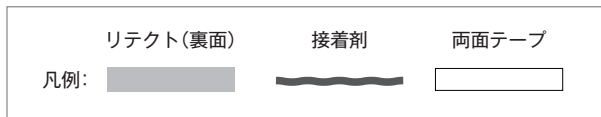
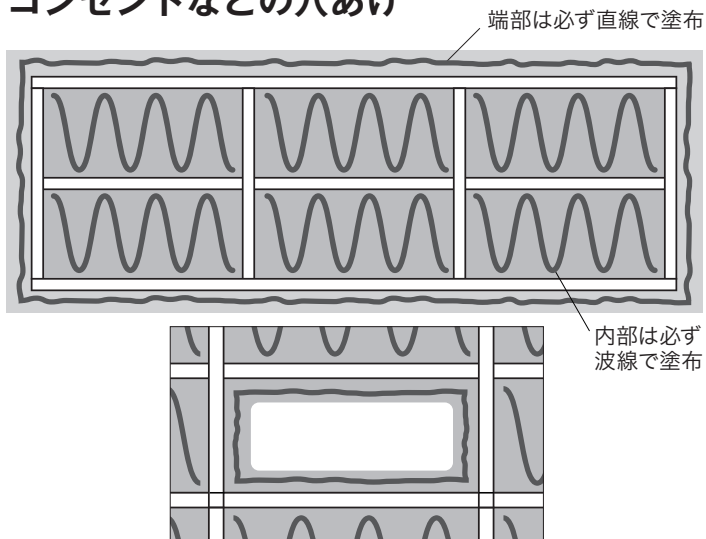
○リテクト3尺×8尺1枚に対して、接着剤を1本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。

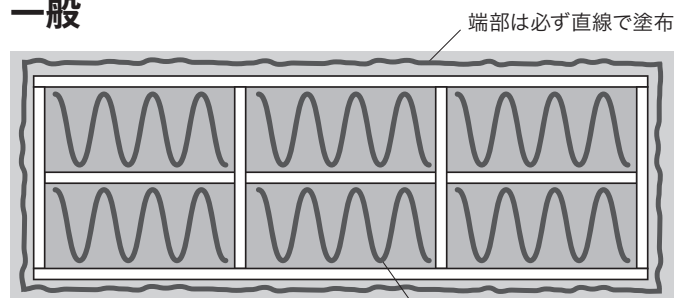
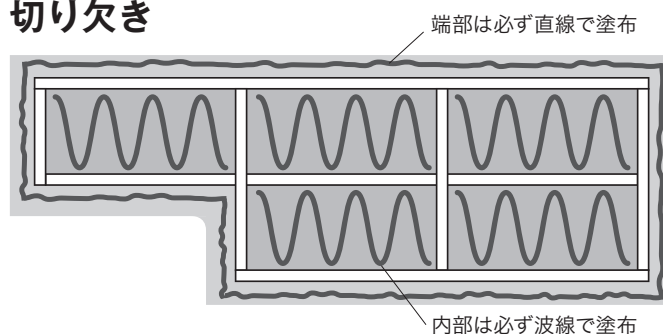
○接着剤塗布後**10分以内**に貼付け圧着してください。

＜専用接着剤使用時のご注意＞

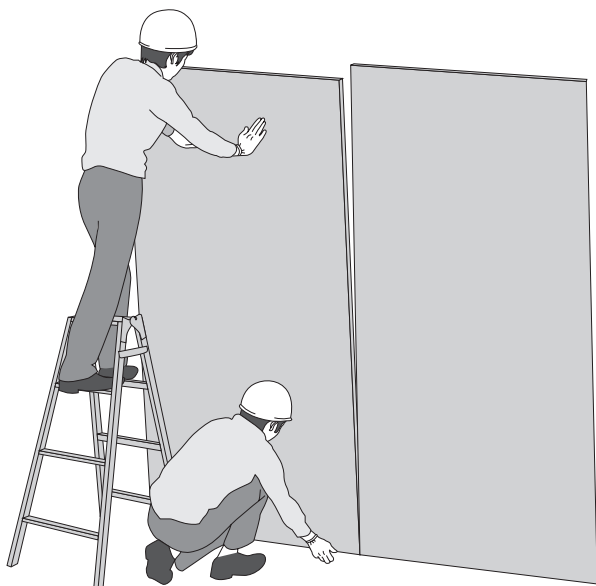
気温は**5℃以上で**施工を行ってください。

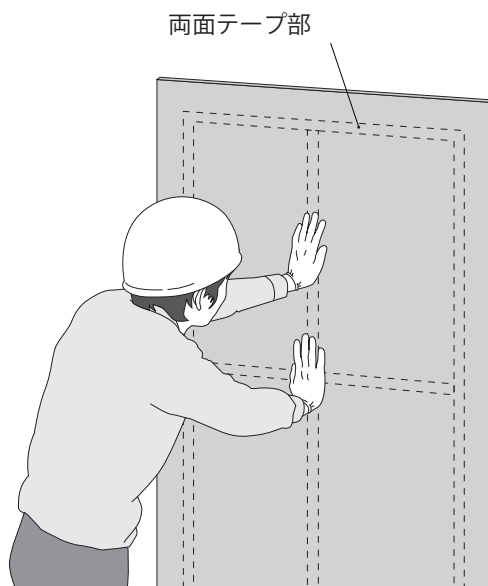
標準塗布パターン

凡例:	リテクト（裏面）	接着剤	両面テープ

コンセントなどの穴あけ

穴あけ部分拡大図

一般

切り欠き

○開口部･切り欠き部は、両面テープ･接着剤により補強してください。
（下地側に両面テープ貼付け･接着剤塗布する場合も同様です）

4 貼付け･圧着

下記の注意事項を遵守して貼付け･圧着を行ってください。

❗ 貼付け時の注意点

○ リテクトを貼り付ける際に、中央部に**浮き**が発生しないように注意してください。
又、貼付け時は開口部･切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください（施工後のクラックの原因になる場合があります）。
※両面テープが壁面に一度接着すると、調整ができなくなります。

❗ 圧着する時の注意点

○ **両面テープ部をしっかりと押さえてください。**
※ 接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。

5　シーリング

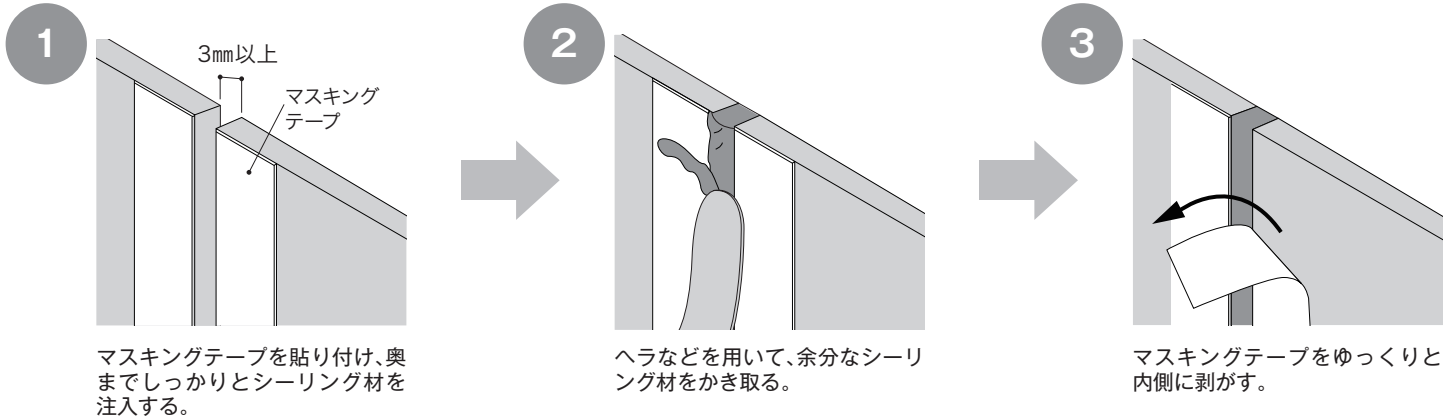
下記の手順に従ってシーリングを行ってください。(シーリング材納まりの場合)

マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシーリング材を注入する。

ヘラなどを用いて、余分なシーリング材をかき取る。

マスキングテープをゆっくりと内側に剥がす。

入隅のシーリングについて

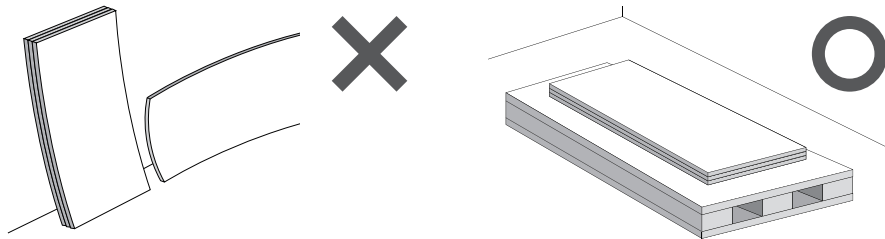
○リテクトの表面はシーリング材の密着が悪い為、リテクト表面にシーリング材を塗布する場合は必ずプライマーを使用してください。

6　保護フィルム剥がし

２日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

在庫・保管に関して

ご注意

○在庫・保管は直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。

○地面への直置きは避け、平らな場所でパレットなどの上に平積みしてください。壁などに立てかけると、反りの原因になりますので、絶対におやめください。

その他の注意事項

平成12年施行の改正建築基準法により、不燃認定ラベルの貼付け義務がなくなりました。

製造・販売

IBIDEN　イビデン建装株式会社

本社　〒503-8503　岐阜県大垣市青柳町300　TEL.0584-89-0552 FAX.0584-88-2722
http://www.ibidenkenso.jp　E-mail:info@ibidenkenso.jp

東部営業部　〒108-0073　東京都港区三田3-14-10　明治安田生命三田ビル5F　TEL.03-3452-2538　FAX.03-5765-5053
西部営業部　〒532-0003　大阪市淀川区宮原1-2-6　新大阪橋本ビル3F　TEL.06-6399-1674　FAX.06-6399-1680
仙台出張所　〒984-0015　宮城県仙台市若林区卸町5-7　TEL.022-238-7004　FAX.022-284-6911
中部営業所　〒503-8503　岐阜県大垣市青柳町300　TEL.0584-89-0609　FAX.0584-89-0608
九州営業所　〒812-0062　福岡県福岡市東区松島3-14-6　オフィスパレア松島I-B4　TEL.092-611-3413　FAX.092-611-3417